

414
A4518

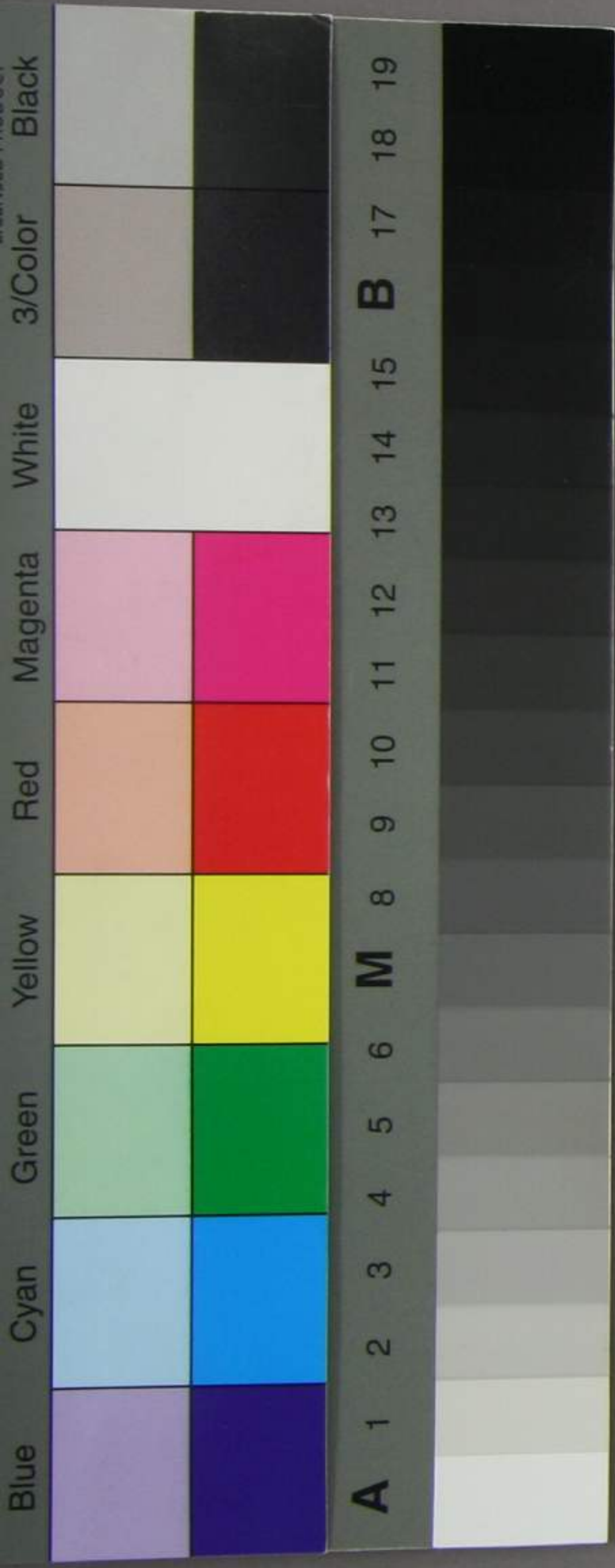


大正
四年
四月

條約改訂考

イヒスミス

大日本ニ於テ各國ノ條約ヲ改訂セント欲セバ先ツ宜シク合衆國
ヲ以テ始ムベシ是即チ禮ニ依リ法ニ合フモノナリ而シテ改訂ノ商議
ハ獨リ合衆國ノ公使トノミ之ヲ尽スベシ大日本ト合衆國ト互ニ
尽サント欲スル商議ニハ文際上又ハ其他ノ事故ニ依テ他國ノ
取テ之ニ間然スルノ理有ルイナシ又合衆國トノ商議ノ進否



ヲ餘國ノ公使等ニ告グルヲ要セズ是ノ商議ノ次第如何ヲ彼
等ノ聞知スヘキ理ナケレバナリ但シ探索又ハ賄賂ナドノ方畧
ヲ構ヘテ探聞スルハ是非ナキコトニシテ之ヲ如何トモナス一能ハズ然
リト雖モ外務省ト合衆國公使トノ間ニ談論セシ事ヲ歐羅
巴國ノ公使タル者之ヲ外務省ニ就テ探聞スルハ不當ト云フベシ
於テ衆國ニ於テハ歐羅巴諸國ノ事務ニ管セズ又歐羅巴
諸國ヲシテ合衆國ノ事務ニ管セシムル是即チ合衆國創
建以來ノ法則ナリ而メ此法則ハ普ク人ノ知レルモノナレバ若シ
他條約國ノ公使ニ於テ衆國ノ公使ト合同シテ大日本トノ條約
ヲ改訂セシムル請ヒ然ラザレバ此改訂ノタメニ煩ジメ共ニ事ヲ議

セント請ヒテ合衆國公使ニ於テハ此去列アルヲ以テ其請ヲ
拒ムノ理ハ充分ニアリ既ニ見任ノ合衆國公使(審官ビンハム)ニ於
テハ餘國ノ公使等ト議スルヲ好ム獨リ大日本トノミ改訂ノ
コトヲ高議セント欲スルノ意アリ是余カ沿シ信スル所ナリ加之
合衆國及ヒソノ公使タル「ジエツジビンハム」ニ於テハ自餘ノ條約各國
ニ比スレハ一層大日本ニ對シテ公道友誼ヲ表シテ欲スルノ意
アリコレ亦余カ敢テ疑ヲ容レサル処ナリ若余カ所見ニ違ハス
且ハ余カ所望ノ如クナラハ合衆國ト議シテ改訂シケル條約ハ各
國ト各別ニ改訂シ得タル者或ハ所謂合力法(羣狼ノ鹿ヲ駈
リ人ヲ逐フ所ノ法是ナリ)ヲ以テ各國合同シ衆國ト共ニ改

訂シ得タルモノニ比スルハ殊ニ公正ノモノナルヘシ斯ノ如ク公正ノ
條約ヲ合衆國ト定メタル上ハ他ノ諸國ト改訂ヲナスノ日
ニ當リ我ニ於テ一大便益ヲ得ルコト明ナリ
新任ノ魯國公使今當國ニ居ラハ思フニ彼レ「ジツジビンハム」ト心
ヲ向フシカヲ共ニスヘシ抑魯國ト合衆國トハ左ノ要旨ニ於テ
ニ異ナル処アリ即此兩國ハ深ク外國貿易ニ着意セス
ソノ最モ關係アル者トシテ意ヲ用フルハ「吋寸」貨物ヲ盛大ニ
スルニアリ又コノ兩國ニ於テ條約ヲ結ブノ大眼目ハ高法上ニ
アラスノ 改法上ニアリ而ソツノ望ム所ニ主顧ノ客ヲ得ルニ
アラスノ 八友ヲ得ルニアリ殊ニ已ララ客ヲ得ルニ此西

國ノ敵ヲトセサル所ナリ蓋シ魯國 在ノ際兩國之
政府一魯米ヲ云フニバ豫レシ「レ」ビシムラシテ改訂議ヲ
畫サレシメテ同意セサルモ余ニ於テ思フニ魯國公使參着
ノ上ハ自餘之外國公使等ニ比スレバ同ハ「レ」ニ於テハ殊ニ合衆
國ニ至公至正之法方ヲ以テ大日本ト正實ノ條約ヲ作ラン
願フナルヘシ抑此兩國ハソノ今日ノ勢盛大ニシテ恐クハ天下ノ
列國一モ此右ニ出ルモノ有ルヘカラス而ソツノ人口錢財威力ノ
増殖スルハ殊ニ迅速ナリ是ニ由テ之ヲ觀レバ他之諸國ハ此
兩國ノタノニ敵ハレシ「レ」近キニアルヘシ即テ語ヲ換テ之ヲ云ハバ
遠カラステ合衆國ノ外天下ニ魯國ノ如キ強國ナク又魯國ノ

外天下ニ合衆國ノ如キ強國ナキニ至ルヘシ故ニ余ユク一タレ
此兩國ヲレテ大日本ト公正ノ條約ヲ結バシメヨ然ルハ自餘
ノ諸國何レモ之ヲ基本トナシ敢テ之ニ依ルヲ欲セル者ナク
ント

右ノ外ニ尚「ロウ」ビニ「ト」共ニ改訂ヲ始ジムベキヲ以テ即
チ「述」シ大日本ニ於テハ各國條約ノ改訂ヲ始ル日ニ當リ
各國ノ條約全ク此日ニ至ラテ終レリト云フハルノ權理ヲ有ス
他ノ語ニ換ヘ之ヲ云ハ我ニ於テ非ナリト思フ程ノ條款ハ多少
ヲ論セバ「ス」ク之ヲ論カシテソノ加用ヲ止メ以テ條約ヲ改訂セ
ンイラズ「張」レ「蓋」レ「曰」テ「レ」ビニ「ト」ニ於テハ此説ヲ是ナリト

シテ直チ「ヲ」容レン是レ余ガ能ク知ル所ナリ余帝「恩」ハラ
ク此權理ヲ因定スルハ大日本ノタメニ便宜ナル改訂ヲナスニ
於テ決シ「欠」ベカラハル者ナリト如此ナル片ハ外國公使等ニ
於テハ「事」皆ソノ望外ニ出ルカ故ニ必「現」今存在ノ條約ヲ
ソ「存」置ント爭ヒ強テ此説ヲ固守セン「明瞭」ナリ

